

南山宗教文化研究所主催

ローチ基金研究員講演会

日泰寺は、ラーマ5世より贈られた仏骨を納めるために造営された寺院でしたが、四国霊場の写し霊場がつけられ、電車の月見坂停留場ができ、しだいに名古屋市民の憩いの場になりました。日泰寺の歴史を通して、タイと日本の外交、観光資源としての霊場の成立を考えます。

7月6日(木)

16:30~18:00

講師 林 淳氏

2023年度ローチ基金研究員
愛知学院大学客員教授

司会 守屋 友江

南山宗教文化研究所所長

会場 Zoom

プログラム

16:30~16:35 開会挨拶

16:35~17:30 講演

17:30~18:00 質疑応答

参加方法 QRコードか受付フォームで7月5日までに
お申し込み下さい。開催前にZoomのURLを連絡します。

<https://app.nanzan.ac.jp/regform/regist/univ/shubunken/shubunken2>



連絡先 南山宗教文化研究所 nirc-office*ic.nanzan-u.ac.jp (*を@に変えて下さい)

主催 南山宗教文化研究所 名古屋市昭和区山里町18 南山大学内

覚王山日泰寺を
めぐる外交と観光